

# 北園体操総合金

夏季ユース五輪

【ブエノスアイレス】共同  
夏季ユース五輪第6日  
は11日、ブエノスアイレス  
で行われ、体操の男子個人

総合で15歳の北園丈琉（大  
阪・清風高）が合計82・2  
98点で金メダルを獲得し  
た。  
初採用のダンススポーツ  
のブレイクダンス混合団体



男子個人総合で金メダルを獲得した北園丈琉のあん馬  
＝ブエノスアイレス（OIS提供・共同）

では河合来夢（神奈川・百合丘高）がベトナム選手と組んで金メダルを獲得し、個人との2冠を達成した。

競泳男子800メートル自由形は吉田啓祐（東京・日大豊山高）が7分53秒85で銀メダル。自転車BMXのフリースタイル・パーク混合では大霜優馬と丹野夏波（神奈川・白鵬女高）の日本が銅メダルに輝いた。

## 「内村2世」 大差で圧勝

最終種目の鉄棒。体操男子個人総合で15歳のホープ、北園は他の選手が演技を終え、会場の視線が注がれる中でびたりと着地を決めた。2位に大差の圧勝。「優勝を目標にしていた。金メダルは重たくて、きれいです」。表彰台の一番上に立つと、148センチの王者は無邪気な笑顔を見せた。一つのヤマ場は今年に入って全日本ジュニア選手権

と高校総体で2度、落下しているというあん馬だった。「おそれず思い切った」とミスなく乗り切ると、その後は総合力の高さを発揮。平行棒で「勝ると思っちゃった」と尻もちをついても、なお2位に1・8点差の頂点だった。

高校生離れした力強さと美しさが武器。何でもこなせるオールラウンダーは海外メディアから「内村航平2世」と注目を浴びる。「ずっと目標にできた。自分も周りから絶対的な存在に思われたい」と背中を追いつつ「いつまでもすごいと思うっていたら勝てない」とプライドものぞかせ

る。2年後は「中学に入った時からずっと思い続けて練習している」と東京五輪に出ることを疑わない。「ユース五輪は東京につながる大会と決めていた。一つクリアして少し近づけた」とうなずいた。